

南アルプス訪問者用の記念切手シートに使う写真を撮る旅（募集 5 名）

登山旅の目的	行程	講師	準備するもの
<p>南アルプスの山岳を訪れた方に自然の素晴らしさを広めるための訪問記念切手シートに用いる写真を撮影する自然体験プログラムの旅。</p> <p>プロカメラマンが講師として同行・指導し、記念切手シートに用いる写真は後日、講師が選定する。</p> <p>記念切手シート用いる写真素材は南アルプスの自然や風景等に関するのなら何でも良い。</p> <p>記念切手シートは令和 5 年度にお土産品として遠山郷で販売する。</p>	<p>◇期日 9月26日（月）～28日（水）</p> <p>26日 8時集合（芝沢ゲート）</p> <p>10時30分 面平レンタルテント・キャンプ場（宿泊地）</p> <p>16時まで 撮影会</p> <p>20時 就寝</p> <p>27日 7時発</p> <p>13時 光岳小屋（宿泊地）</p> <p>16時まで 撮影会</p> <p>20時 就寝</p> <p>28日 8時発</p> <p>8時 下山</p> <p>17時 芝沢ゲート 解散</p>	<p>秦 達夫先生（プロフィール）</p> <p>1970年長野県飯田市（旧南信濃村）生まれ。自動車販売会社・バイクショップに勤務。後に家業を継ぐため写真の勉強を始め写真に自分の可能性を感じ、写真家を志す。写真家竹内敏信氏の助手を経て独立。故郷の湯立て神楽「霜月祭」を取材した「あらびるでな」で第八回藤本四八写真賞受賞。同タイトルの写真集を信濃毎日新聞社から出版。他に写真集の著書あり「山岳島_屋久島」「屋久島 RainyDay」「NewZealand」。</p> <p>日本写真家協会会員・日本写真協会会員・Foxfireフィールドスタッフ</p> <p>（秦達夫事務所ホームページより）</p>	<p>登山の支度</p> <p>シュラフ</p> <p>行動食</p> <p>備考</p> <p>1 泊目素泊まり</p> <p>2 泊目 1 泊夕朝食付き</p>

主な見どころ写真の撮りどころ

面平

300年前の地震で地形変化した緩傾斜地に、サワラやブナ、ミズナラの巨木の森が広がる。300年をこえる樹齢で広葉樹たちは寿命が尽きて風で倒れはじめており、自然界のダイナミックな遷移の一瞬を垣間見ることができる。



ミズナラの巨樹

易老岳～三吉平

面平から易老岳への尾根道は原生林が左右に見られる。標高を上げるに従い植生が次々に変化する。易老岳からいったん光岳方面へ下ると、北西方向に遠山川をへだててシラビソ山塊が正面に見える。最低鞍部の三吉ガレに降りると晴れていれば槍ヶ岳も見える。

静高平～光岳～光石

静高平には高山植物が多い。ハイマツがでてくるとイザルヶ岳への分岐点。この辺りがライチョウの生息南限と言われている。光岳に向かう途中のセンジガ原では構造土が見られる。石灰岩の光石は夕陽をあびてキラリと光り光岳の名前の由来となった。

光石（てかりいし）

